



校訓「自主・協調・明朗」平成28年3月10日

日新中学校だより

尼崎市立日新中学校長 尾知山光郎

さようなら3年生

3年生は、明日3月11日の卒業証書授与式が、最後の授業となります。12日(土)の公立高等学校入試を控えている生徒が過半ですが、学校への登校としては、11日(金)が最終日です。卒業証書授与式での立ち居振る舞いにおいても、これまで学習したことを出し切ってほしいと思います。

今年度最終回となった、3月1日の全校朝礼の**校長講話の振り返り**を特集します。

少し振り返って、前を向いていこう ~校訓に沿っためざす生徒像に近づけたか~(3月1日)

(1年) 一年生に入ったばかりのころの私は、ルールも知らず勝手気ままだったけれど、先輩の凛とした姿だったり、三つのめざす生徒像を見て、一年間様々な行事を体験してきて、先輩や生徒像に近づいているように感じた。

私も前に進むには少し後ろを振り返り、見通しを持って行動したいなと思います。校訓にあるように、自主的に授業に取り組みたいです。そのためには、ノートをきれいにまとめて、発表もたくさんできるようになりたいです。

(2年) 私はこの1年間で「自主・協調・明朗」をどれだけ達成できたか考えました。一番できたのは協調です。クラスや生徒会などで、みんなと協力して物事に取り組みめたと思うからです。3年生では、自主や明朗も今までより意識するようになりたいです。

めざす生徒像にはありませんが、私には「努力」が足りていないです。勉強もそうですが、人間関係の努力が足りてないです。「先生に敬語を使う」という当たり前のことができていなかったり、私が考えずに言ってしまった言葉で友達を傷つけてしまったりしてしまうのもっと努力して良い人間関係を築きたいと思います。

校長先生が今までたくさん話をしてくださって、自分の中でも変わったことがたくさんあります。もうすぐ3年生。いろいろと大変なことがありますが、2年生で学んだことを生かしていきたいと思います。そのためにも、振り返りをしてみて、そして見通しをしようと思います。

人に嫌なことを言う人は、先を見通すことができていない人だなと思う。一人ひとりが先のことを考えて行動すれば、嫌な気持ちになる人とかは減るんじゃないかなと思う。私も3年生になったら、めざす生徒像に近づけるようになりたいです。

(3年) 日新の校訓には「協調」というのがありますが、私は一人で物事を解決しようとするのが多く、周りに頼らないことがあります。しかしそれでは、周りの人が困っている時に気づけないようになってしまっているのではないかと思います。だから、他の校訓で「自主」とあるように、自分を強く持ち、なおかつ、周りとの協調をもつことの両立ができるような人をめざしていきたいです。

普段振り返りをしようとしても忘れてしまったりすることがたくさんあるのでこれからは勉強とかに関してもしていこうと思った。これから振り返りシートを書く機会はなくなるけど、高校生になってもシートが書けるくらい先生の話をしっかり聞こうと思います。

3年前私は日新中学校に入学して、この校訓を目にしました。当時は全く心がけていませんでした。しかし、2年生からは受験を意識するようになり、勉強をすることがはじめて楽しいと思うようになり、クラスみんなや友だちと明るく楽しく過ごすことができたのではないかなと思います。私にとってこの3年間、日新の生徒像に近づき、人間として成長できました。これからも意識して頑張っていこうと思います。

今日の話は見通しを立てると言うことで、もうすぐ入試のある私たちは高校生活での楽しさなどたくさんの楽しさを想像してきました。これも、先の事を見通すということなら、先の事を実現させるには、今すべきことを一生懸命がんばらないといけないと思いました。なので、まずは、志望校合格に向けて精一杯努力しようと思います。

校訓の協調は特にならばいいと思います。生徒会活動や部活動をしていて感じました。高校に行っても日新中学の校訓を忘れることなく生活しようと思います。

私は、この学校のめざす生徒像(校訓)は、常識的なことなんだと感じます。だから、私は、この3年で常識のある人には、なれたんじゃないかと思いました。

今日テストが5教科返却され結果は三年間で最低な結果でした。このままでは高校に行って苦労するという見通しが立てられたので、あと1か月できなかったことをしっかりと振り返り、高校で苦しむことの無いように、ゆとりをもって日々新たに進化できるようにしたいです。

昨日のことを振り返り、明日のことを見通すことは簡単なことだけど、実行するのは難しい。でも、テストをふり返り、先のことを見通すことができるようになりました。3年間、ありがとうございました。

今日話を聞いて、考える、見通すことがとても大事だと改めて思いました。それは今、このときだけでなく、命続く限りずっと思い知らされるだろうと思います。それは、学校であったり職場であったり、家であったりします。私はもう受験は終わり、少しほっとしているところもありますが、今でも後悔していることがあります。もっと前から努力する習慣をつけていたらよかったということです。私は人にはよく「努力家」だと言われますが、それは本当であり、嘘でもあります。たしかに、中学校に入った後少したってから、私は人より努力、勉強することを大事にしてきました。でも、小学校のころは「なまけ者」のレッテルがお似合いな人間だったのです。宿題を忘れてたり、家でも何もしなかったりしていました。でも、私がこんなに変わったのは、身近な事から頑張ることが大事だと気付いたからです。たとえば、この紙に書いている時でも。あるいは、家の手伝いをするとか、休み時間を有効に使うとか、いろいろあります。それを頑張ったおかげで今の私がいると思っています。3年間、この学校で頑張られてよかったです。

私は、前までよくふり返りをいたのですが、最近はできていません。ふり返りをすることは前した事を思い出すことができ、今後の活動により大きな影響を及ぼすことができると思っています。今日の話でふり返りと見通しの良さが、またさらに分かったので、高校生活でも「ふり返り」ということをしていこうと思います。3年間、素敵なお話をありがとうございました！！

もっと多くの生徒の文章を読んでいただきたいのですが、紙面の都合上、以上とさせていただきます。卒業していく3年生は、入学以来3年間、この振り返り作文に取り組んできました。作文から読み取れると思いますが、どの朝礼でも、よく話を聴いていました。そして素晴らしい作文をたくさん書いてくれました。私の期待に応えてくれた生徒たちに感謝します。

学力を高めるための基盤となる力として「聴く態度(力)の育成」を、尼崎市教育委員会はかなり前から「学力向上プラン」に掲げています。下級生にも見習ってもらいたいと強く願っています。

3年生(保護者の皆様)にお渡しする日新中学校だよりは、今号で最終号となります。これまでのご愛読ありがとうございました。